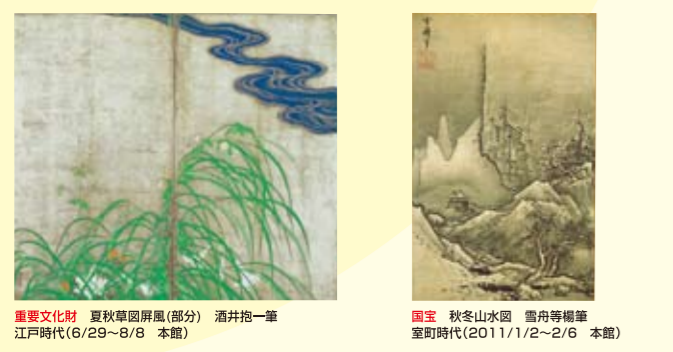




収蔵品について 東京国立博物館は、日本を中心とする東洋の美術および考古におけるさまざまな作品を所蔵しており、収蔵件数は11万2千件余りを数えます。そのうち国宝は87件、重要文化財は 624件含まれています(2010年3月現在)。

主な収蔵品 (2010年度の展示予定作品より) *展示期間は変更になる場合があります

日本の美術



東洋の美術



展示について 展示には、平常展と特別展があります。平常展は、当館の収蔵品のほか、社寺・個人等からの寄託品で構成されます。作品の材質や状態によって定期的に作品の入れ替えを行っています。常時展示されている作品の数は、約3000件です。特別展はあるテーマを設定した大規模な企画展示で、年3～5回程度開催します。

屋外展示

黒門 (重要文化財)
旧丸の内大名小路(現在の丸の内3丁目)にあった鳥取藩池田家江戸上屋敷の正門です。明治時代、当時の東宮御所正門として移された後、高松宮邸に引き継がれ、さらに昭和29年(1954)当館に移築されました。屋根は入母屋造で、左右に向唐破風(むかいからはふ)屋根の番所を備えています。土・日・祝休日は黒門を開放しています。
※天候により中止されることもあります。

校倉 (重要文化財)
奈良・元興寺の別院、十輪院にあった経蔵。明治15年(1882)5月に当館に移築されたものです。鎌倉時代に造られた一間四方の小さな校倉で、内部壁面には大般若経にゆかりの釈迦十六善神などが描かれており、この宝蔵には大般若経が納められていたことがわかります。

ジェンナー像
種痘を発明したイギリス人の医師、ジェンナーの像です。明治29年(1896)種痘法の発明100年を記念して、大日本私立衛生協会が制作を依頼したもので、高村光雲の弟子、米原雲海が木型の原型を制作しました。台座にはめ込まれた碑文には、漢字で「善那」と書かれています。

庭園と茶室
東京国立博物館の本館北側には庭園が広がり、四季おりおりの植物で彩られます。春の桜の季節と秋の紅葉の季節、年に2回一般開放しています。庭園内には、応挙館九条館、六窓庵、春草廬、転合庵という5つの茶室があり、茶会、句会などにご利用いただけます。(有料)

東京国立博物館のあゆみ

明治 5 (1872) 旧湯島聖堂の大成殿で開催された日本初の博覧会を機に、「文部省博物館」として発足



明治 8 (1875) 内務省所管となる。翌年、陳列区分は天産、農業山林、工芸器械、芸術、史伝、教育、法教、陸海部の8部門となる

明治 15 (1882) 上野寛永寺本坊跡の現在地に移転、イギリス人建築家コンドル設計の建物(旧本館)で開館



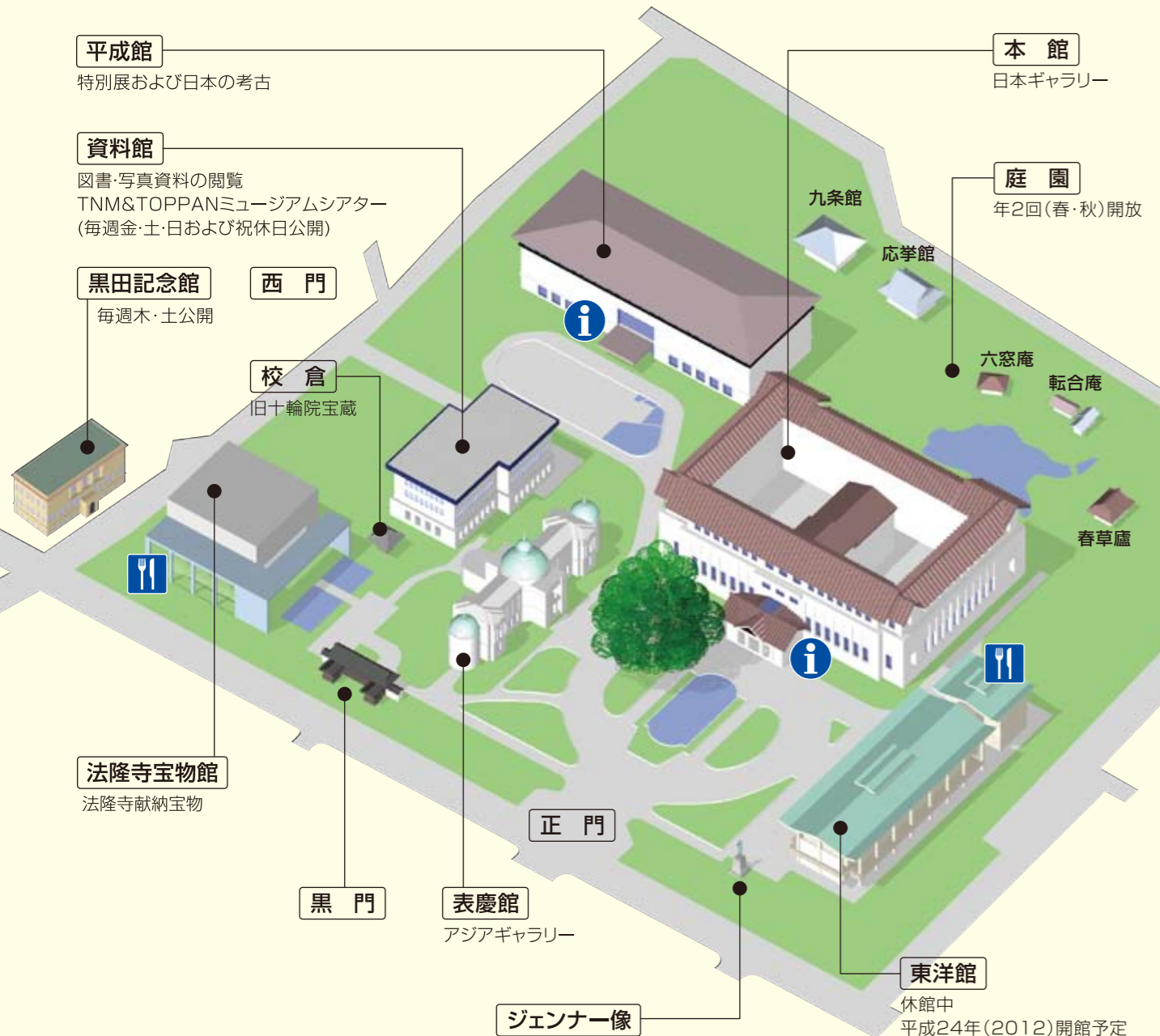
明治 22 (1889) 宮内省所管の「帝国博物館」となる
明治 33 (1900) 「東京皇室博物館」と改称
明治 42 (1909) 表慶館が開館
大正 12 (1923) 関東大地震により、旧本館が損壊
大正 14 (1925) 天産部の列品を文部省の東京博物館(現在の国立科学博物館)などに移管

昭和 5 (1930) 黒田記念館が開館
昭和 13 (1938) 現在の本館が開館
昭和 22 (1947) 文部省所管「国立博物館」となる
昭和 25 (1950) 文化財保護法の制定により、文化財保護委員会の所管となる

昭和 27 (1952) 「東京国立博物館」となる
昭和 39 (1964) 旧法隆寺宝物館が開館
昭和 43 (1968) 文化庁の所管となる。東洋館が開館
昭和 59 (1984) 資料館が開館
平成 11 (1999) 現在の法隆寺宝物館が開館、つづいて平成館が開館
平成 13 (2001) 独立行政法人国立博物館 東京国立博物館となる
平成 19 (2007) 独立行政法人国立文化財機構 東京国立博物館となる

東京国立博物館へようこそ

東京国立博物館は、日本を中心に東洋のさまざまな地域の文化財を収集・保管し、一般に公開しています。また、収蔵品に関連する調査研究および教育普及事業などを行うことによって、貴重な文化財の保存および活用を図る総合的な博物館です。敷地内には、展示施設と資料館、レストラン、ミュージアムショップがあります。また、屋外展示や緑豊かな庭園があり、季節ごとの彩りをお楽しみいただけます。



平成館

特別展および日本の考古

資料館

図書・写真資料の閲覧
TNM&TOPPANミュージアムシアター
(毎週金・土・日および祝休日公開)

黒田記念館

毎週木・土公開

校倉

旧十輪院宝蔵

法隆寺宝物館

法隆寺献納宝物

表慶館

アジアギャラリー

ジェンナー像

東洋館

休館中
平成24年(2012)開館予定

本館

日本ギャラリー

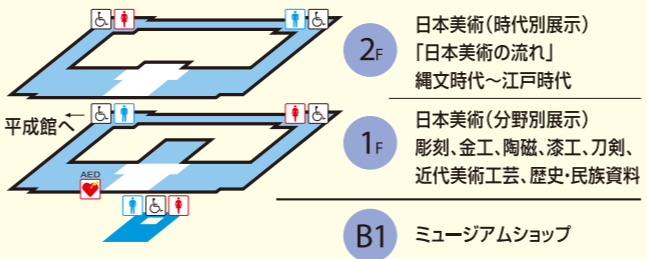
庭園

年2回(春・秋)開放

本館 ● 日本ギャラリー



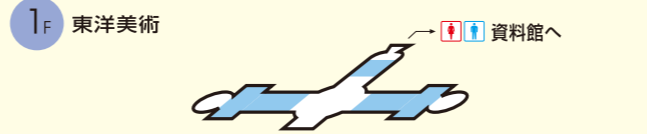
縄文時代から近代まで、日本美術の流れをたどる時代別展示と、彫刻、陶磁、刀剣などの分野別展示やテーマ展示で構成。日本の美と心をご覧ください。この建物は、関東大震災で破損した旧本館にかわり昭和13年(1938)に開館。渡辺仁設計。平成13年(2001)、重要文化財に指定されました。



表慶館 ● アジアギャラリー



明治33年(1900)、後の大正天皇ご成婚を記念して計画され、明治42年(1909)に開館しました。明治末期の洋風建築を代表する建物として重要文化財に指定されています。片山東熊設計。現在は東洋館の休館に伴い、中国、朝鮮半島、東南アジア、西域、インド、西アジア、エジプトなどの美術と工芸、考古遺物の展示を行っています。



平成館 ● 特別展と日本の考古



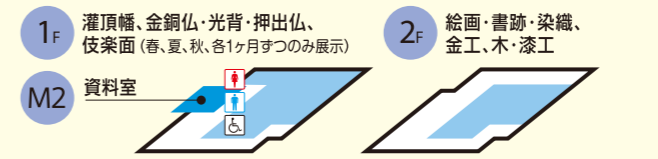
1階の考古展示室では、土偶や、銅鐸、埴輪など、発掘された文化財で日本の歴史をたどります。企画展示室では、さまざまなテーマによる特集展示を開催。2階には特別展専用の展示室があります。



法隆寺宝物館 ● 法隆寺献納宝物



明治11年(1878)に奈良の法隆寺から皇室に献納され、戦後、国に移管された7～8世紀の宝物を中心とした300件余り(法隆寺献納宝物)を収蔵。6つの展示室で分野別に展示しています。資料室では全献納宝物のデータが見られる「デジタルアーカイブ」を公開。現在の建物は、平成11年(1999)開館、谷口吉生の設計です。



黒田記念館



黒田記念館は、洋画家黒田清輝(1866～1924)の遺言により、その遺産によって建てられ、昭和3年(1928)に竣工、同5年(1930)に帝国美術院附属美術研究所として開所しました。画業の顕彰のために当初から設けられた黒田記念室を含め、2階では、

黒田家他から寄贈された油彩画、素描などを展示公開しています。
入場無料 / 毎週木・土曜日のみ公開 開館時間 13:00～16:00
11/3～11/7は特別公開(連日開館) 9:30～17:00
休館日 夏期(7/15～9/3)、年末年始(12/26～1/6)
*その他黒田清輝共催展期間中等臨時休館あり

資料館

美術史研究などに関する情報資料を収集・保管、公開する施設として昭和59年(1984)に開館。和・漢・洋図書約21万冊、写真原板約30万枚を収蔵(2010年3月現在)し、これら資料の閲覧および複製ができます。

開館時間 9:30～17:00 / 資料閲覧受付 9:30～12:00、13:00～16:00
休館日 土日祝休日、毎月末日(休日にあたるときはその前日)、年末年始
*その他臨時休館あり *資料館ご利用の際は、西門よりご入館ください

東洋館

耐震補強工事のため、休館中。平成24年(2012)開館予定。

交通のご案内



JR上野駅公園口、または鶯谷駅下車 徒歩10分、
東京メトロ 銀座線、日比谷線上野駅、千代田線根津駅下車 徒歩15分
京成電鉄京成上野駅下車 徒歩15分

博物館のご案内

*特別展等の開催に伴い、開館時間等は変更になることがあります。
開館時間 9:30～17:00(入館は閉館の30分前まで)
4月～12月の特別展開催期間中の金曜日は20:00まで、
4月～9月の土日祝休日、および10～12月の特別展開催期間中の土日祝休日は18:00まで開館

休館日 原則として月曜日(祝日・休日にあたる場合は開館、翌火曜日休館)、
年末年始(12/27(月)～1/1(土・祝))。ただし2010/5/4、
8/16、11/8、11/15は開館。2010/6/22は臨時休館

観覧料 一般600(500)円 大学生400(300)円
(平常展料金) ※()内は20名以上の団体料金
※特別展は別料金
※障害者とその介護者1名は無料
入館の際に障害者手帳などをご提示ください
※高校生以下および満18歳未満、満70歳以上の方は、平常展について無料
入館の際に年齢のわかるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証など)をご提示ください
※国際博物館の日(5/18)、敬老の日(9月第3月曜日。2010年は9/20)は平常展のみ無料

レストランのご案内

構内の2か所で食事・喫茶をお楽しみいただけます。皆様の憩いの場としてご利用ください。

東洋館1階「レストラン ラコール」
(東洋館休館中も営業しております)
営業時間 10:30～17:00

法隆寺宝物館1階「ホテルオークラ ガーデンテラス」
営業時間 11:00～17:00
※閉店時間は博物館の閉館時間に準じます

ミュージアムショップのご案内

東京国立博物館の出版物をはじめ約3000種類の美術・考古・歴史関係図書のほか、当館の収蔵品をもとにデザインした絵はがき、文房具、Tシャツなどのミュージアムグッズや書画の複製品などを販売しています。

本館地下
表紙:埴輪 踊る人々、埴輪 犬 古墳時代; 重要文化財 菩薩半伽像 飛鳥時代;
重要文化財 色絵梅園茶壺 江戸時代; 国宝 片輪車時絵螺鈿手箱 平安時代;
重要文化財 緋箔 紅白段草花短冊八橋模様 安土桃山時代



東京国立博物館

東京都台東区上野公園13-9 〒110-8712
電話:03-3822-1111(代表) <http://www.tnm.jp/>
お問い合わせ ハローダイヤル 03-5777-8600
(英語/English) 03-5405-8686